

2026 年度 指定校推薦3年次編入学試験問題

(政策学部)

(科目名:小論文)

2025 年 11 月 9 日(日)

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【引用部分は削除しています】

出典：神野直彦『人間回復の経済学』岩波新書、2009 年 p 82～85

問題：

1) 下線(1)「大量生産・大量消費の経済システム」とはどういうことか、説明しなさい。(200 字程度)

2) 下線(2)について、大量生産・大量消費の経済システムによって社会問題が起こっていることを示唆していますが、実際に起こっている社会問題として、大きくは以下の4つが挙げられます。この中から1つ取り上げ、その社会問題について、具体的にどのような問題が起こっているのか、身近な例で説明しなさい。また、その問題解決のために、どのような政策が考えられるか論じなさい。(800 字程度)

1. 廃棄物・ごみの増加：大量生産・大量消費のサイクルは、使用後に大量の廃棄物を生み出します。食品ロスや衣服や家電製品などの廃棄物処理によって土地や資源が圧迫され、環境への負荷が深刻化しています。
2. CO₂排出・地球温暖化：生産・流通・廃棄に伴い大量の二酸化炭素が排出されます。さらに焼却による追加の CO₂排出も問題です。
3. 労働環境の問題：安価な生産コストを求めて先進国企業が発展途上国に工場を移転することにより、低賃金や危険な労働環境、児童労働などの問題が生じています。
4. 資源の枯渇・生態系への影響：原材料や化石燃料の大量消費により、資源が枯渇し、森林伐採や水資源の過剰使用、化学物質による汚染が進行しています。